

# こくふっこ

【教育目標】人間性豊かな たくましい子ども

【重点目標】ともに学び ともに歩み ともに伸びる子



## 「あおいくま」と「くまのて」

校長 太田 敬祐

◆皆さんから日々、子どもたちの健康にご留意いただいたおかげで、先週の水曜日から通常登校を続けることができます。ご自身の生活にも大きな変化がある中で、子どもたちの面倒を見ながらそれを続けることは並大抵ではなかった推察します。本当にありがとうございました。

◆私が愛読している月刊『致知』の別冊「母」の第2号にもものまね四天王のコロッケさんが「僕を変えてくれた母の生き方」という文章を寄稿しています。

いつの頃からか、我が家の柱には母の字で書かれた黄ばんだ紙が貼られていました。

**あ**せるな **お**こるな **い**ばるな **く**さるな **ま**けるな

子どもの僕には意味が分からず、「あおいくま」と横に読んでいましたが、母は笑いながら「広志くん（コロッケさんの本名）、この言葉だけは覚えておきなさい。これを覚えておけば大丈夫だから。」と教えてくれました。

それからというもの、僕は事あるごとにこの「あおいくま」を思い出し、心の支えとするようになりました。

浮き沈みの激しい芸能界にあって、40年も売れっ子として生きてこれたのは、この「あおいくま」を心に刻んで「相手が1番、自分が2番」と思って仕事をして来たおかげであると述べていらっしゃいました。

「あおいくま」の話をコロッケさんがテレビで話しているのを視聴したことがあり、この言葉自体は知っていました。しかし、あらためて8ページに渡る文章を読んで、今のコロナ禍にいる自分自身のこと、校長としての自分自身のことを考えさせられました。まさにこの言葉通りに今の事態を乗り越えていけばいいんだと、この言葉から勇気もらいました。

◆通常登校にもどった水曜日、朝の全校放送で「くまのて」の話をしました。

学校は全員そろって再開することができるようになりましたが、まだコロナウィルス感染症が無くなったわけではないこと、自分の命を自分で守るために気を付けることを話しました。自分で気を付けることの合い言葉として「くまのて」を示しました。この「くまのて」を思い付いたのも、その少し前にコロッケさんの話を読んでいたからです。

子どもたちがこの合い言葉を胸に、様々な制約がある中ですが、学校生活を楽しんでくれたらと願っています。私たち職員も全力で子どもたちを支えていきます。

